

### INDEX

アカデミーヒルズ活動レポート  
六本木ライブラリーにて  
「サイエンスシリーズ」スタート  
「科学を伝える人」横山広美氏が登壇。

六本木ライブラリー調査  
人脈作りの目的は  
「新しい人・コトに出会うため」

10月・11月のイベント一覧  
ご取材、ご参加については  
お問い合わせ下さい。  
Tel. 03-6406-6649(深町)

## アカデミーヒルズ 活動レポート

### 六本木ライブラリーにて「サイエンスシリーズ」スタート 「科学を伝える人」横山広美氏が登壇

2008年9月19日(金)、横山広美氏(東京大学大学院理学系研究科 広報・科学コミュニケーション准教授)を迎えてサイエンスシリーズ「深くて美しい宇宙と科学のお話」を開催しました。講演の中から、横山氏の取り組みについて語られた部分を抜粋してご紹介します。



### 05年に始まった科学コミュニケーション活動

私の今のポストの名前は「広報・科学コミュニケーション」です。この活動は、文部科学省が中心となり2005年に活発に活動が行われるようになりました。

その目的はいくつかありますが、科学を身近に感じ、最先端の研究と社会との関わりを考えていただく機会を設けることです。

科学にまつわる様々な問題に誠実に対応し、信頼を保つこと、また、科学技術基本法に基づき投入される5年間で約25兆円の予算に対して、きちんと説明を行うことも科学者の責務になります。さらに科学技術で国を支えるためには、優秀な人材も必要です。

つまり、科学と共によりよい社会をつくっていくために、双方向のコミュニケーションを成立させる、それが「科学コミュニケーション」活動です。

私の仕事は、大学での研究や、研究者の方々を様々な場で紹介することによって、より身近に科学を感じ、信頼される関係を作ること、そして魅力的なサイエンスを若手に紹介することです。さらに若手研究者にその必要性を理解してもらう大学院教育、研究にも携わっています。

### 「科学を伝える人」を目指し物理学の道へ

私自身は、最初から大学の研究者を目指したわけではありませんでした。そもそも私が科学を伝えることを志したのは中学2年生のときでした。当時、カトリック系の学校に通っていた私は、神様の存在、宗教、今自分がここにいる理由などが不思議でなりません。

そんな折、ある方に薦められて読んだ『ニュートン』に、「宇宙はビックバンによって始まり、膨張して現在の姿がある」と書かれていたのです。それを読んだ私は大きな衝撃を受けました。

それ以来科学の道を志しましたが、科学者になるためではなく、科学を伝える人になりたいと考えたのです。大学に進む段階では、憧れていた宇宙を研究する物理学の分野に入り、現場を知ってから書く人になろうと考えました。

大学で選んだのは、素粒子を研究する高エネルギー物理学です。素粒子のなかでも、小柴昌俊先生が2002年にノーベル賞を受賞されたニュートリノ物理の分野です。小柴先生のお弟子さんたちの手で続けられているニュートリノ研究のグループに入りました。

### 素粒子研究——生をかけて行う研究——

ニュートリノ研究は、つくばの高エネルギー加速研究機構でニュートリノを大量につくり、それを岐阜県にあるスーパーカミオカンデで観測する実験をしております。私はつくばの加速研究機構に属していましたが、ニュートリノ研究は10か国の共同研究で、約150人の研究者が日々寝食をともにして研究に励んでおりました。

素粒子分野は、準備に5年、結果が出るまでに5年というように非常に長いスケールの研究です。1人の高エネルギー物理学の研究者が生涯を通して関わられる実験は、ほんの3つ、4つということもあります。

今年9月にジュネーブにあるCERN(セルン:欧州原子核研究機構)は、LHC(大型ハドロン衝突型加速器)の実験を開始しました。世界が目にするこの実験には、日本人をはじめ、世界から多くの研究者が参加しています。

研究期間が長く、膨大な費用がかかる素粒子の研究では、その内容を多くの人にお知らせすることも科学者の責任です。LHCについては、世界中の広報官が腕を競ってアピールしており、私はLHCのなかの「アトラス実験」に関する日本担当の広報官を務めています。

私は色々な分野のサイエンスをお伝えしていますが、各専門分野には研究の一線に立ちながらそれぞれの研究を紹介して下さる魅力的な若手研究者たちがいます。六本木ライブラリーでは、天文、宇宙、情報生命科学、生物化学などに携わる彼らにお話いただく機会を設けたいと考えています。

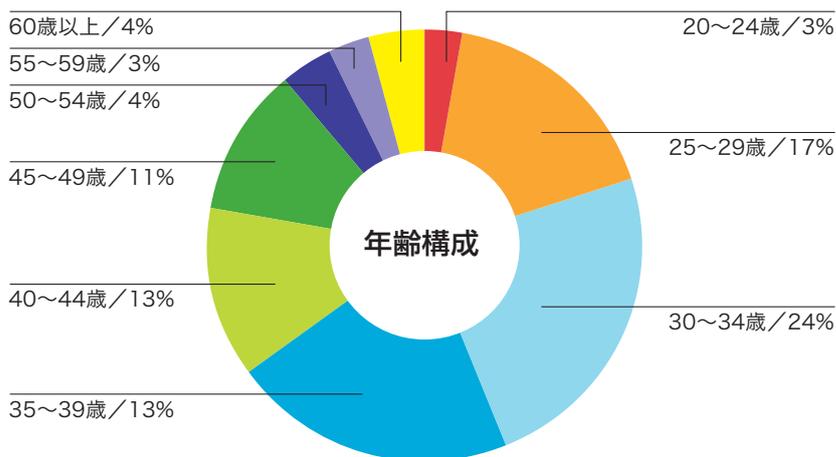
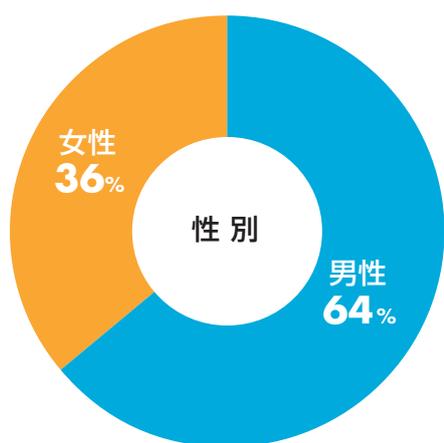
横山氏監修 サイエンスシリーズ次回開催予告

2009年1月22日(木) テーマは「地震学」で大木 聖子(東京大学地震研究所 アウトリーチ推進室)にお話をいただきます。

## 「空中サロンで自分磨き」「都心のネットワーキングの場」というキーワードで 取り上げられることが多い六本木ライブラリー。

利用目的の他、人脈作りの傾向と目的、メンバー同士の交流の志向について六本木ライブラリーメンバーの意識を調査しました。

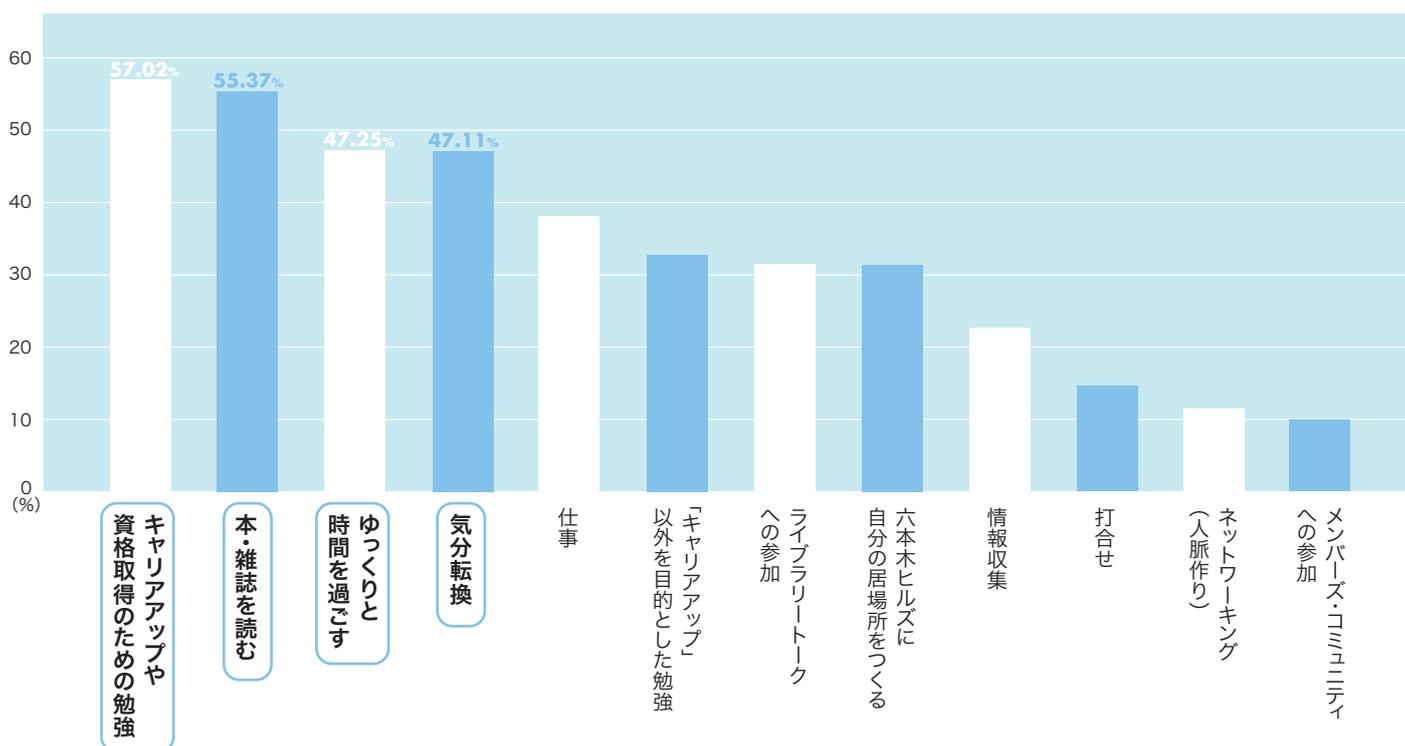
調査概要 調査対象:六本木ライブラリーメンバー:726名 / 一般有職者:1000名(参考)  
調査内容:六本木ライブラリーメンバーの意識調査  
調査方法:インターネット調査 調査時期:2008年6月



### Point-1

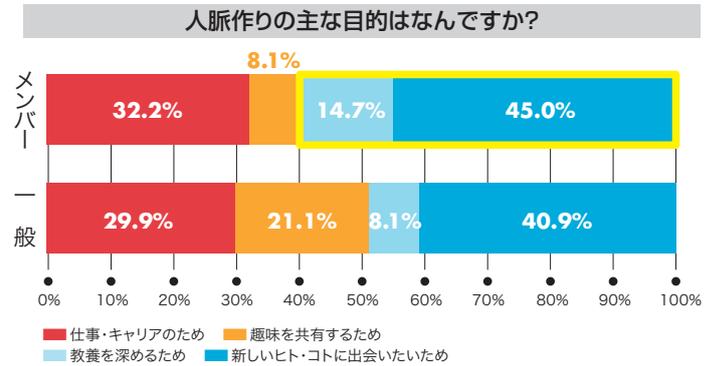
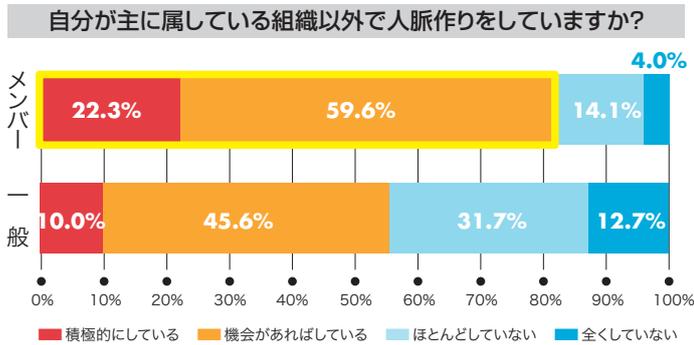
ライブラリー利用の目的は、半数以上が「キャリアアップの勉強」「本・雑誌を読むため」と回答。また「ゆっくり過ごす」「気分転換」も約半数が挙げ、プライベートに有効に利用されている様子が伺える。

ライブラリー利用の目的はなんですか?(複数回答)



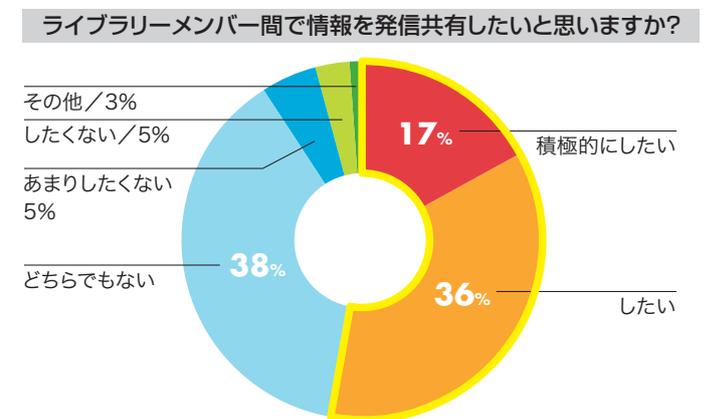
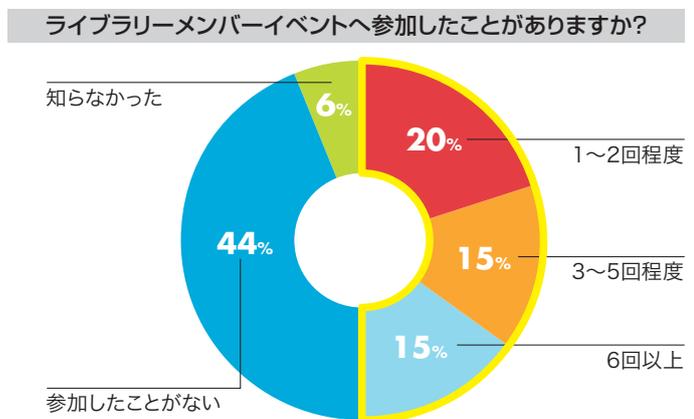
**Point-2**

自分の属す組織以外の人脈作りは8割を超えるメンバーが「積極的に行なっている」「機会があれば行っている」と回答。また、その目的は一般に比べ「趣味を共有する為」が少なく、「教養を深める為」「新しいコト・モノに出会いたい為」が多い傾向となっている。



**Point-3**

ライブラリー内で開催のイベントへの参加経験者も約半数おり、メンバー同士で知識を共有したいと半数を超える人が考えている。



**ライブラリーメンバーによる「ネットワーキングイベント」を開催**

六本木ライブラリーが普段開催する中でも、最も多くのメンバーが集るネットワーキングイベント。今年はおしゃべりパーティと題し8月に開催、300名近いメンバーが参加しました。

今回は10人のライブラリーメンバーが“テーマ・リーダー”となって、ミニセッションが行われ、参加者は気に入ったテーマの輪に自由に参加して交流を深めました。そのテーマは【もしも、あなたが〇〇だったら】【ブック エクスチェンジ(お薦めの本の交換)】【経営談話室「白いキャンパス」～あなたが明日、社長に抜擢されたら？～】など個性的ですが、誰もがすぐに話題に加わりやすいもので、皆さん熱心におしゃべりに興じていました。

**“おしゃべりパーティ” その後**

パーティをきっかけに、様々な「その後」の活動がはじまりました。【経営談話室「白いキャンパス」】はメンバーズ・コミュニティとして継続的な活動を開始。また、パーティで知り合ったメンバー同士で【PDCA 仕組み研究会】や【ビジネスブックシェア】という二つのメンバーズ・コミュニティが発足しました。300名近い人たちが一堂に会して、“おしゃべり”をする初めての試みに、参加したメンバーから「今度は自分も企画に加わりたい!」と積極的な声が寄せられるなど、よいメンバー同士の交流の機会となりました。

**メンバーの声**

“おしゃべりパーティ”に参加したメンバーの当日アンケートによると、パーティ参加の目的は「他のメンバーと交流するため」が全体の76%とダントツで、9割近くのメンバーが満足して下さったようです。その他、ご意見としては

- ・友人を増やしたい、ビジネスネットワークを広げたい、知識交流をしたい、意見交換をしたいなど、参加者の目的をより明確にしたほうがよい。
- ・もう少し気軽に、隣の人たちとランダムに話してみたかった。

など、交流を前向きに捉えたご意見を多くいただきました。レポートは

[http://academyhills.cocolog-nifty.com/topic/2008/08/260\\_dbf2.html](http://academyhills.cocolog-nifty.com/topic/2008/08/260_dbf2.html) に公開中です。

竹中平蔵アカデミーヒルズ理事長も参加



# 2008年11月・12月のイベントスケジュール

\*ご取材、ご参加に関して詳細はお問い合わせください。 Tel: 03-6406-6649 (担当: 深町)

**スクール・フォーラム** ビジネスパーソンを対象にした公開イベントです。(有料プログラム)

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
11月 5日[水] 19日[水] 19:00~	プロに学ぶ プロジェクトプランニング プロジェクトを成功に導く設計術『プロジェクト・ロジック』演習講座	永禮 弘之 [(株)エレクセ・パートナーズ 代表取締役 クライアントパートナー]
6日[木] 19:00~	デジタルコンテンツセミナー 「ニコニコ動画」世界に誇れる日本初のサービスを目指して	杉本 誠司 [(株)ニワンゴ 代表取締役社長] 西川 英彦 [立命館大学 経営学部環境・デザイン・インスティテュート教授]
9日[日] 13:00~	ブランドマネジメント戦略入門: 顧客との接点を活用するブランド戦略	加治 慶光 [株式会社オーテックジャパン 海外事業部部长]
9日[日] 13:00~	パワーファシリテーション基礎講座 ~個人の力を統合し、結果を出す会議術~	新里 聡 [株式会社アブランドル 契約講師/アップリフトリーダーシップセンター 代表]
11日[火] 19:00~	プレミアム戦略シリーズ③ エビスビール プレミアム価値の源泉とは? ~体験が紡ぐプレミアムストーリー~	立山 正之 [サッポロビール㈱マーケティング本部 エビスブランド戦略部長] 田中 洋 [中央大学大学院戦略経営研究科 教授]
14日[金] 8:00~	ケロッグ大学モーニングセッション 福祉がいまできることー横浜市副市長の経験からー	前田正子氏 [(財)横浜市国際交流協会 理事長]
15日[土] 13:00~	プロに学ぶ シミュレーションを活用した説得の技術 数字を使って説明するスキルを身につける	小川 康 [インテグレート株式会社 代表取締役社長]
21日[金] 19:00~	生命観を問い直す	福岡 伸一 [青山学院大学理工学部 化学・生命科学科教授]
26日[水] 19:00~	インサイト実践トレーニング講座 ~「思わず買ってしまう」心のスイッチを見つける~	桶谷 功 [JWTジャパン シニア・アカウント・プランニング・ディレクター]

**Library Talk** 六本木ライブラリー会員対象のコミュニティ イベントです。

\*開催時間は全講座 19:15~20:45

開催日	講座タイトル	ゲスト(敬称略)
11月 4日[火]	シリーズ「Think'Pro-age」 第4回 プロエイジの友情	ファシリテーター: 飯野 晴子 [プロエイジマスター/PRプロデューサー] 協力: ユニリーバ・ジャパン株式会社
6日[木]	グーグルマーケティングの仕事術	押切 孝雄 [株式会社カティールサーク代表取締役]
10日[月]	新・見えないものを見るネットワークプロジェクト -THE ORBS-JAPAN.COM PROJECT	薄羽 美江 [MC Planning, Inc. 代表取締役] LISA VOGT [MC Planning, Inc. 取締役・クリエイティブディレクター] 他
11日[火]	ネットいじめ(仮)	荻上 チキ [評論家]
14日[金]	これからの時代を拓く教育とは ースクール・アーティスト: 井出良一先生の教育改革	スピーカー: 井出 良一 [大阪府高槻市立土室小学校教諭] モデレーター: 梶山 寿子 [ジャーナリスト/ノンフィクション作家]
17日[月]	「インフォコモンズ」	佐々木 俊尚 [フリージャーナリスト] 協力: 講談社BIZ
20日[木]	誰もが知っている夏目漱石の小説「坊ちゃん」の内容は、 実は一般に信じられているものとは異なっている	阿武 秀子 [フリーライター] 島田 裕巳 [宗教学者]
26日[水]	儲かる会社はこうして作れ!(仮)	木下 晃伸 [経済アナリスト/経営コンサルタント] 協力: 講談社BIZ
12月 2日[火]	ディスレクシアについて(仮)	藤堂 栄子 [NPO法人 EDGE会長]
3日[水]	暴走する資本主義(仮)	雨宮 寛 [コーポレートシチズンシップ] 今井 章子 [コーポレートシチズンシップ]
8日[月]	「銀のアンカー」そして「ドラゴン桜」と通じて(仮)	三田 紀彦 [漫画家] 協力: 集英社
9日[火]	シリーズ「Think'Pro-age」 第5回 プロエイジ的2009年を決める	ファシリテーター: 飯野 晴子 [プロエイジマスター/PRプロデューサー] 協力: ユニリーバ・ジャパン株式会社